

☆メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」

○日時：2月6日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度
《1月のおはなし会で使った本》

『ポッポーきかんしゃゆきさんぼ』 とよたかずひこ/著 アリス館 2022.10

『スケッチブックで楽しむわくわくシアター』 浦中こういち/著 ナツメ社 2022.3

『だるまさんの』 かがくいひろし/さく ブロンズ新社 2010.12

『まめまきまかせて!』 荻田澄子/脚本 童心社 2013.8

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】価格は消費税抜き

<絵本-3, 4歳から>

『へびのくび』 織田道代/作 きくちちき/絵 フレーベル館 2023.11 ¥1500

へびくんととかげちゃんが、とかげちゃんのつくったきれいなスカーフをえだにかけてながめっていると、こねずみくんたちがやってきた。マントだとおもってはおったり、リボンだとおもってみみにむすんだりするので、へびくんがモデルになってくびにまいてみせることにしたけど…「ぼくのくびってどこだっけ？」実はまだはっきりしていない「蛇の首」に着目したユーモラスな絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『ぼくはなんのほん?』 カロリーナ・ラベイ/著 はせがけい/訳 光文社 2023.11 ¥1700

だれもない夜の図書館では、本たちがたなからおりてきておしゃべり中。それぞれが自分を読んでくれた人の話をする中、いちばん高いたなの上におかれたダスティーはだれにも読まれず、自分がなんの本なのか分からない。本たちは、よく図書館に来るソフィーという女の子にダスティーを見つけてもらおうとするが…。思いがけない本との出会いによって広がる世界を描いた絵本。

『たいへんおまたせしました』 中垣ゆたか/著 赤ちゃんとママ社 2023.11 ¥1300

ここは、すべてのお料理が最高で特別なレストラン。いちごのショートケーキの注文をうけて、いっせいに走り出したじゅうぎょういんたちがまず向かったのは、生クリームとバターを作るための牛がいる牧場。最高で特別な材料をそろえる、長い長い道のりが始まる！スケールの壮大さに笑いを誘われながら、ひとつの料理にどれだけのプロセスが関わっているかにも気づかされる絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『はるさんと1000本のさくら』 ただのぶこ/作 中央公論新社 2023.11 ¥1500

86さいのはるさんは、10人しかいなくなった村でいちばんわかいおばあさん。村のゆくすえをはなしあつたはるさんたちは、1000本のさくらのなえぎをうえることに。うえおわってから100年後、村はみごとな花の谷になっていて…。次の世代に思いをつなぐ絵本。「書店員が選ぶ絵本新人賞2023」で大賞を受賞した「はるさんのユートピア」を改題・一部修正して書籍化。

<絵本-小学校中学年から>

『わたしは地下鉄です』 キム・ヒョウン/文・絵 万木森玲/訳 岩崎書店 2023.11 ¥1800

地下鉄はきょうも走る。どこかから来てどこかへ行く人たち、そのひとりひとりの、目には見えない物語をのせて…。会社帰りのワンジュさん、お母さんになった末っ子ユソン、勉強に疲れた学生のナユンなど、さまざまな人が利用するソウルの地下鉄。そんな乗客たちの日常に寄り添う地下鉄の、ひとり言のような絵本。原書は韓国で出版人会議優秀図書賞ほか複数受賞した注目の1冊。

<読み物-小学校低学年から>

『リパとみつばちの庭』 福井さとこ/作・絵 のら書店 2023.11 ¥1100

リパはうでのいい庭師。ある時、庭の道具箱の中にみつばちが住み着いてしまう。その様子をこっそり見ていた少年ミロと交流を持ったリパは、ミロの家の庭と一緒に花を植えることに。やがてミロの家のみつばちたちも巣穴にたっぷりの蜂蜜を作って…。自然と共存する温かさを伝える物語。挿絵は優しい色合いのシルクスクリーン（版画）で描かれる。作者は絵本作家であり版画家。

<読み物-小学校中学年から>

『ぼくのなかみはなにできてるのか』 かさいまり/作 おとないちあき/絵 金の星社 2023.11 ¥1450

1年生の時に教室でおしっこをもらったことをからかわれた経験がきっかけで、嫌なことがあっても言い返さず周りにあわせてしまうようになった4年生のはると。自分の中身を分解すると弱虫や泣き虫でできていて…。もうすぐ転校するやすくんは勇気を出して友達宣言して共に過ごすうちに、はるとは変化する自分の気持ちに気付く。思春期を前に葛藤しながら成長する少年の物語。

『ねこもおでかけ』 朽木祥/作 高橋和枝/絵 講談社 2023.12 ¥1400

ある日、飼い犬のダンと散歩していた小学生の男の子信ちゃんは、カボチャプリンみたいな小さな子猫を拾う。子猫はトラノスケと名づけられ、家族やダンと過ごす。ある時からおでかけが増えて…。あちこちのよその家で過ごすトラノスケの後を追う信ちゃんが見つけたのは…。子猫に翻弄される日常が温かく描かれる物語。巻末には猫と仲良くなれる「ねこ豆知識」の解説あり。

<読み物-小学校高学年から>

『車いすでジャンプ!』 モニカ・ロー/作 中井はるの/訳 小学館 2023.12 ¥1500

先天性の障がいので車いす生活を送る12歳のエミー。車いすモトクロス選手に憧れ高機能車いすを購入するため、親友とオンライン

ショップを運営することに。ある日学校のスロープで転倒したことからエミーの日常は窮屈で不満をためこむものになり…。障がいのある学生の権利を背景に夢に向かう少女の姿を描く。原書は『Air』は、米国の学校図書館ジャーナル2022年の優秀作品。

『今日もピアノ・ピアノ』 有本綾/作 今日マチ子/絵 Gakken 2023.12 ¥1500

小学6年生の海斗は沈んだ気持ちで塾へ向かう途中、駅のストリートピアノを弾くおじいさん青柳さんと出会う。青柳さんに憧れピアノを始める海斗だが気持ちばかり焦ってしまい…。自身の気持ちに向き合い成長する男の子の物語。作者は教職を退職後、創作活動始める。本作で第31回小川未明文学賞大賞を受賞しデビュー。巻末にストリートピアノのマップ、小川未明の解説あり。

<読み物—中学生から>

『空と星と風の歌』 小手鞠るい/作 童心社 2023.11 ¥1300

中1の空奈は母と二人暮らしで父を知らない少女。夏休みの課題で、母の仕事に同行し、在日朝鮮人二世の男性の話を聞いたことがきっかけで、自身を含めた様々な差別を意識することに。『尹東柱詩集 空と風と星と詩』と『岡真史詩集 ぼくは12歳』から着想を得た小説3編を収録。日本と朝鮮の間にある辛い過去と現在について知り、差別のない社会を希求する若者たちの物語。

『この先生きのこるためのお金とコミュニティ 13歳からわかる金融・デジタルリテラシー』 久松慎一/著 Intelingo 2023.10 ¥1700

既存のお金の成り立ちから、最新のデジタル取引の仕組みまで、現在の「お金」に関する情報を網羅した解説書。ブロックチェーン、NFT、Web3など、中高校生はもちろん、これから生きていく全ての世代に役立つ金融・デジタルリテラシーを、イラストや図も交えて分かりやすく説明。著者は大学の教員であり、複数のデジタル関連会社のCTOを務めるエンジニア。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『SDGsってなあに? 未来のためにみんなができること・まなぶ』 関正雄/監修 WILL こども知育研究所/編・著 金の星社 2023.11 ¥1500

地球で起きている様々な問題を解決するために作られた目標であるSDGs。初めてSDGsについて触れる子どもを対象に17の目標をシリーズ6冊の中で紹介。本書では目標4・5・10を取り上げ、それぞれの問題に関連するお話から、社会背景、現在取り組まれている対応などについて分かりやすく解説。SDGsについて知り、自分たちが取り組めることを考えるきっかけとなる1冊。

『だんだんできてくる6』 住友林業株式会社/監修 白井匠/絵 フレーベル館 2023.11 ¥3000

道路やマンション、トンネルなどの身近な建造物ができていく様子を定点で見つめて描いた絵本シリーズ全8巻。6巻となる本作は「家」ができあがるまでに関わる職業、道具、工事車両などを取り上げその役割を紹介する。工事現場の様子が分かりやすい説明とイラストで楽しく解説。巻末には、世界中にある遺跡や文化財となる家、気候を考慮した特徴的な家屋などを掲載。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『給食にでてくる魚と肉の切り身図鑑』 こどもくらぶ/編 あすなろ書房 2023.11 ¥3600

スーパーマーケットの売り場や給食で見る「切り身」と、もとの形の魚や肉を比べながら読める図鑑。産地や旬、特徴、料理法について写真を中心に説明する。サケ、イワシ、フグ、鶏肉、牛肉等が使われた給食のメニュー「小イワシのみかん風味（山口県大島郡）」「フグのからあげ（山口県萩市）」等も紹介。命をいただいていることを自然と実感できる1冊。巻末に索引あり。

『カイコ1000匹が教えてくれたこと』 谷本雄治/文・写真 文研出版 2023.11 ¥1500

秋に友人からもらった数個のまゆ。うっかり部屋に置いていたらいつの間にか羽化し交尾して産卵。目の前にはカイコの赤ちゃんが…。このことをきっかけにカイコを飼う筆者。カイコの世話をする毎日は驚きと発見、そして試行錯誤の連続。芋虫は苦手だった筆者が観察を続けていくとカイコが可愛く見えてきて…。カイコの飼育を通して命と向き合う筆者の観察ノンフィクション。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『47都道府県おもしろ条例図鑑』 長嶺超輝/著 旬報社 2023.12 ¥3800

「条例」とは、ある地域だけで定められるルール。その地域に住んでいる人が決める条例を知れば、その地域の特色や個性、名物が見えてくる。「緑茶で乾杯条例（静岡）」「忍者市宣言（三重）」「一日ひと褒め条例（兵庫）」などユニークな条例も紹介。条例の定められ方や地域の文化・歴史・地理などについても解説する。条例を通して、地域の特色や地方自治について学べる1冊。

『身近な自然現象大研究』 池内了/監修 PHP 研究所 2023.12 ¥3500

走る自転車はなぜおれぬのか？空はなぜ青いのか？日頃当たり前だと思っている事について「なぜ？」と問うことで、地上の法則や宇宙の法則がどのように結びついているかを、分かりやすい言葉でイラスト図表などの豊富な資料をもとに解説する。身近な体験や自然現象を科学的な視点で考えるきっかけとなる1冊。見開きごとに1テーマを取り上げる。巻末に関連用語の索引あり。

<ノンフィクション—中学生から>

『つたえたいきもち』 津島つしま/著 吉村和真 藤澤和子/監修 樹村房 2023.11 ¥1500

同じ作業所で働く、軽度の知的障害があるハルカさんと、ユウトくん。二人の揺れる恋心をわかりやすく読みやすい形で表現した4コマのオリジナル「LLマンガ」第1作。ストーリーや内容は同じだが、漢字に読み仮名をつけ、画面の情報を厳選した「LLマンガ版」と従来型のマンガ表現版の2編が収録され、違いが比較できる。障害や作業所についてのコラムも簡潔で分かりやすい。

<研究書>

『多感覚で楽しむストーリーテリング 見て、聞いて、触って、動いて』 有働真理子 高野美由紀 光藤由美子/編著 ジアース教育新社 2023.11 ¥2400

「ストーリーテリング」とは読書活動の一つで、「聞く力」を必要とする。本書では、特別支援教育に携わってきた教員を中心に、手話など、聴覚以外の感覚へも訴えかける手立てを取り入れることで、多様な子どもたちにお話の面白さを伝えられる新しいタイプのストーリーテリングを提案。これまでの実践事例やお話の台本も掲載。お話の台本は英語版も収録。

『ことばをあつめて ある幼稚園の図書室のおはなし』 佐藤聖子/著 幻冬舎メディアコンサルティング 2023.10 ¥1500

国語教師である著者が、離職中の9年間に近所の幼稚園で行った「おはなし会」の実践記録であり、読み聞かせ絵本の選び方の参考書にもなる1冊。本書のような「図書室」のある幼稚園は多くないものの、就学前施設や小学校で応用できるスキルを多数紹介。後半の資料編には、「おはなし会」で取り上げた絵本のリストや、園で配布された「としょしつだより」の掲載もあり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→ <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

